

【実行委員会準備委員会の様子】



2022(令和4)年

9月8日

木曜日

日曆8月13日
友引

白露

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

南日本新聞

まよりの歴史
1981(昭和56)年

湯川秀樹死去

日本人初のノーベル賞受賞者で物理学者の湯川秀樹が京都市で死去した。74歳。34年に学会で中間子の存在を予言。その後欧米学者の研究で中間子が発見され、49年にノーベル物理学賞を受賞した。核兵器廃絶など平和運動にも力を入れた。

南日本新聞社 発行所:〒890-8603 鹿児島市与次郎1-9-33
☎099(813)
読者センター5110(平日9時半~17時半) 報道5124
総合受付5001 販売5040 広告5063 事業5052

公式サイト
<https://373news.com>



出水・上場小

校旗新調 地域の力で

出水市の小規模校・上場小学校で、校旗を新調する取り組みが進んでいる。自治会を中心とした実行委員会が100万円を目標に今月末まで募金活動をしており、地域住民や出身者らに協力を呼びかけている。

自治会が募金、目標100万円

校旗は房飾り付きの厚手の生地(53)が校内を探したところ見つからず、歴代校長らに尋ねても存否ははっきりと分からなかった。これまでPTAや同窓会が奇麗するケースが多い。4月に着任した山本裕三校長は布製の校章旗を掲げてきた。分校だった同校は1954年に独立。校歌は17年後に、校区のシンボル朝日岳と「上」の字をあしらった校章は20年後に制定された。山本校長は「この学校にも校旗は当然あると考えていたが、ある住民からは上場は開拓地で経済的に厳しい時代が長く、当時は地域に余裕がなかったのでは」との声も聞いた」と話す。

自治会などに経緯を伝えると、すぐに校旗を作る話が持ち上がり、6月末に実行委が発足した。山本校長は「迅速な対応でありがたい。地域の学校に対する思いを感じる」と感謝する。

同校は校区外からも通える特認校で、本年度は児童10人のうち地元は1人。PTA会長も務める前田洋徳委員長(37)は「再来年には3人の新入生を迎える。校旗作りが学校を盛り上げるきっかけになれば」と意欲を見せる。事務局(上場小内) 0996(68)2200。

(山本輝志)

式典で校旗の代わりに使われてきた校章旗 115日、出水市の上場小学校